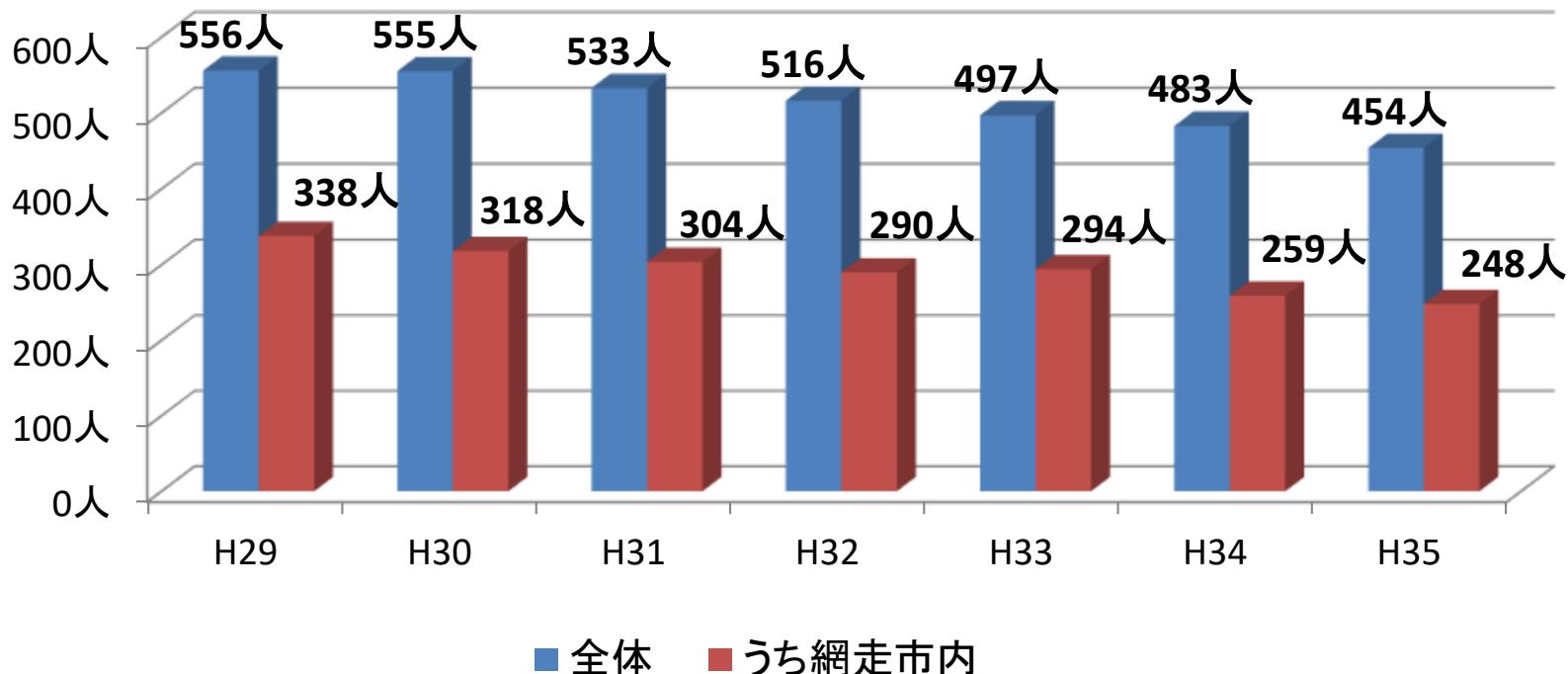


新しい高校づくりの背景

■ 管内中卒者数の推移見込みと本町高校への影響

少子化の進行に伴いオホーツク東学区の中卒者数は減少傾向にあり、平成33年度には平成28年度に比べ約110人減る見込みです。町内の高校入学者に占めるオホーツク東学区内の網走市内中卒者の割合は高く、オホーツク東学区全体の中卒者数の減少に伴い、本町の入学者数においても今後減少することが見込まれます。加えて、網走市内の高校の定員数に余力が生じ、網走市内中卒者の本町に通う割合も低下が予想されることから、町内に将来にわたって高校を存続させることが困難な状況になってきています。

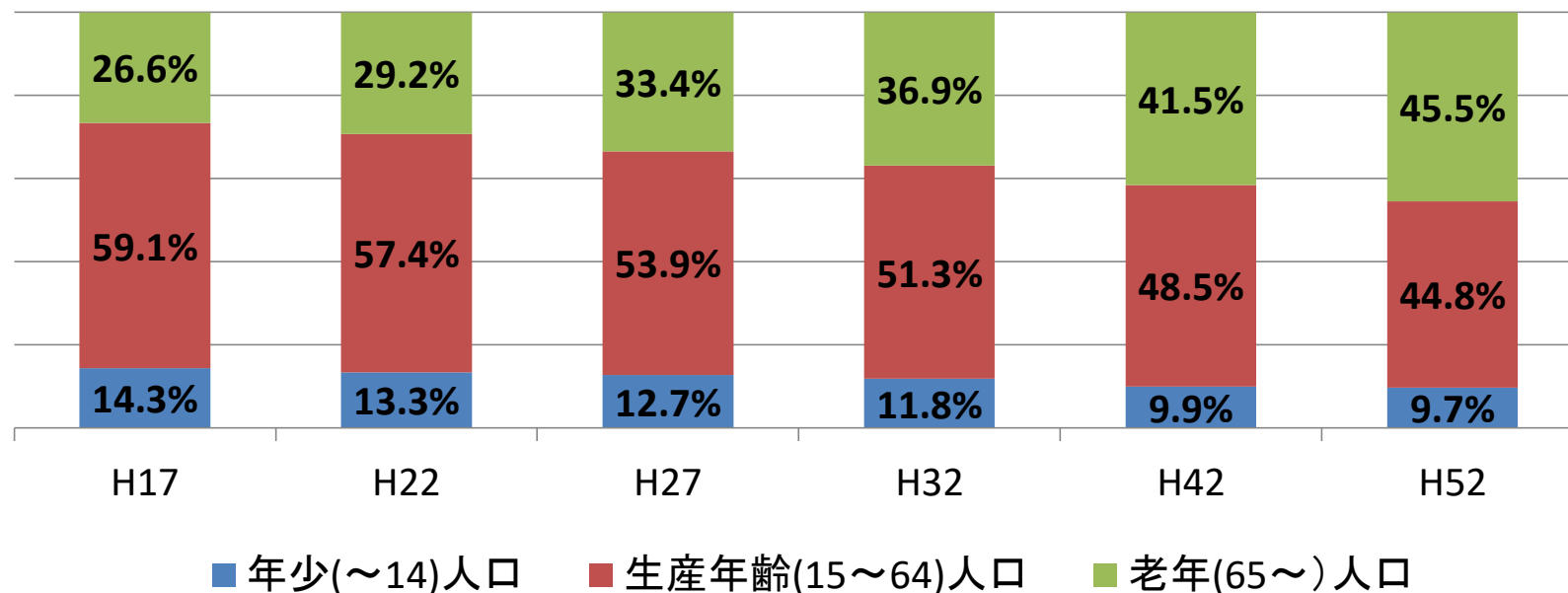


■ 大空町の人口構造の変化

大空町の人口は、毎年減少が続き、それに伴って生産年齢人口も減少し続け、少子・高齢化が進行しています。国立社会保障・人口問題研究所によると、生産年齢人口割合が平成32年度には51.3%となり、さらに平成42年度には48.5%となって町の人口の半数を割り込み、約4割を高齢者が占める推計もあります。

将来に向かって活力ある大空町を創るためには、地域を活性化できる担い手の育成が必要となってきています。

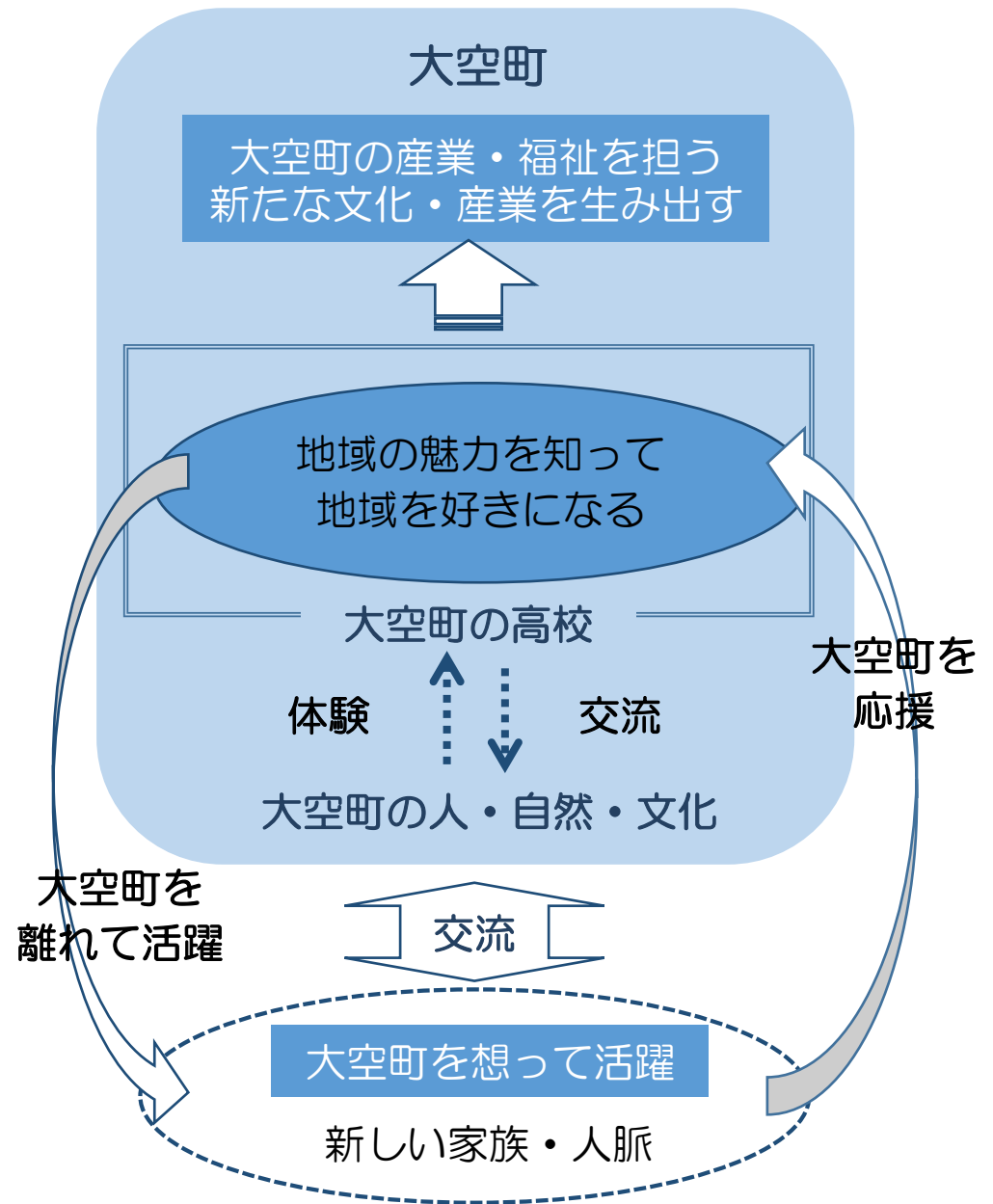
【生産年齢人口の推計】



■ 地域における高校生の存在と期待

行事やイベントに高校生の存在は欠かせません。日中、高校生が行き交うことで賑わいが生まれ、さらには町内外で活躍する地元高校生の応援を通じて町民に活気と連帯感が生まれるなど、町全体が活性化します。

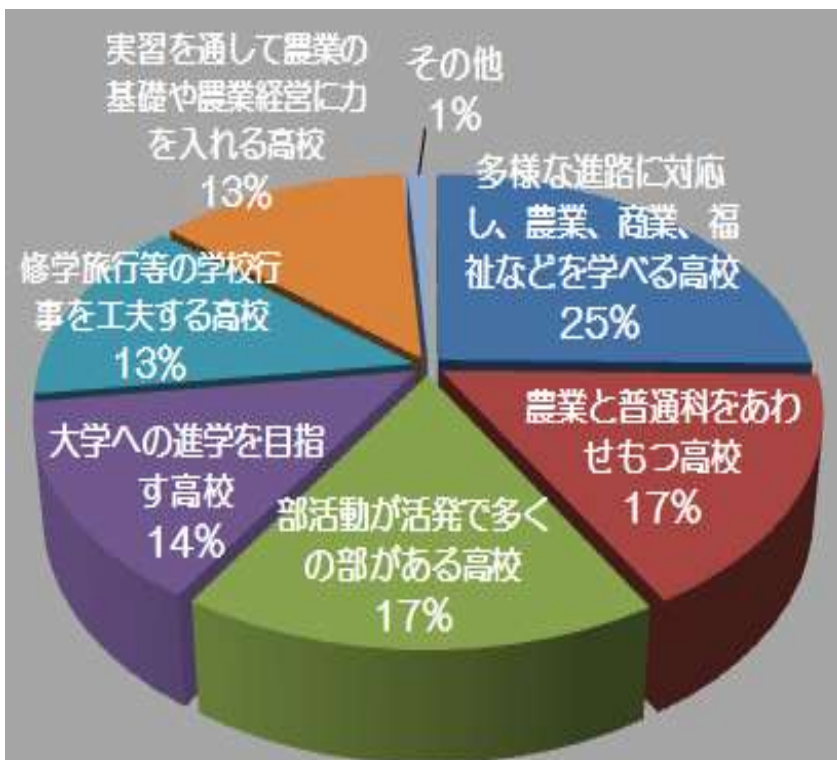
町内に高校を確保することにより、将来進むべき進路の選択時期である高校生活において町内の高校に通い、地域の魅力を知って地域を好きになることで、将来の大空町の担い手となることが期待できるとともに、大空町を離れても、大空町を想って応援してくれることが期待できます。



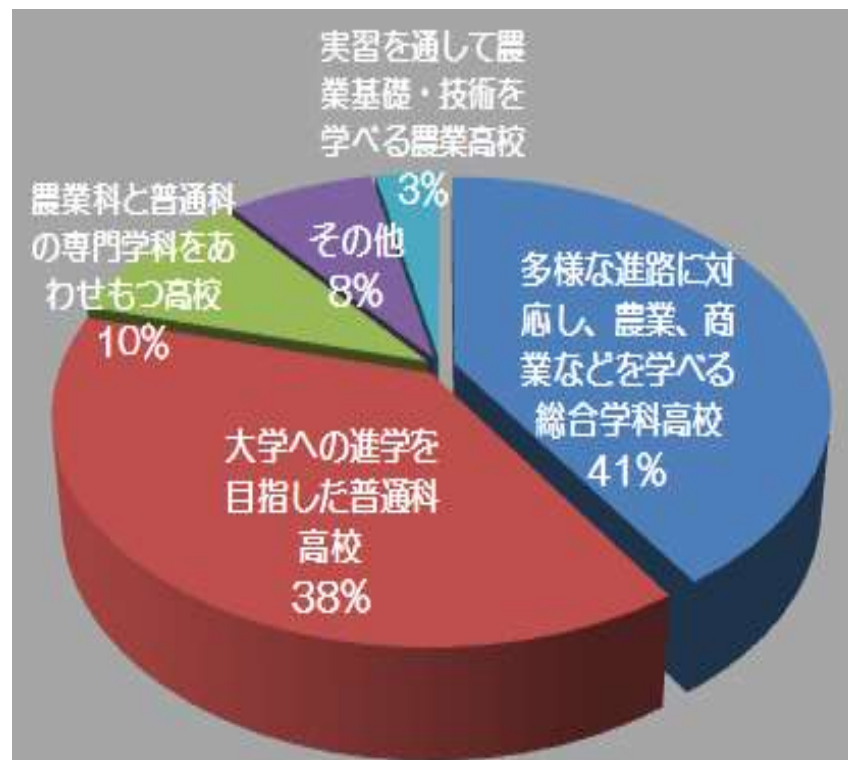
■ 地域の高校に求められるもの

高校が存続し続けるためには、地域が求める魅力ある高校をつくる必要があります。平成27年7月に行った中学生とその保護者を対象としたアンケート調査では、「どのような高校があれば町内の高校を選ぶか」「大空町に相応しい高校はどのような高校か」の問いに対して、「多様な進路に対応した高校」が最も多い結果でした。

どのような高校があれば町内の高校を選ぶ？



大空町に相応しい高校はどのような高校？



■ これからの社会に求められる力

インターネットによる情報網の普及により、国家・地域の垣根を越えて取引が容易に行える時代となりました。変化が激しく予測が難しい**これからのグローバル社会**では、これまで蓄積した能力・技術だけでは対応することが困難となっており、未知の課題に対して問題解決を図り、これからの社会に対応できる力が必要になっています。

これまで必要とされてきた力

個人が教えられた知識を正確に把握する力、与えられた課題を効率よく解くことができる力

これから求められる力

自ら問題点を見つけ、多様な価値観を共有する他者と協働して問題解決を図ることができる力

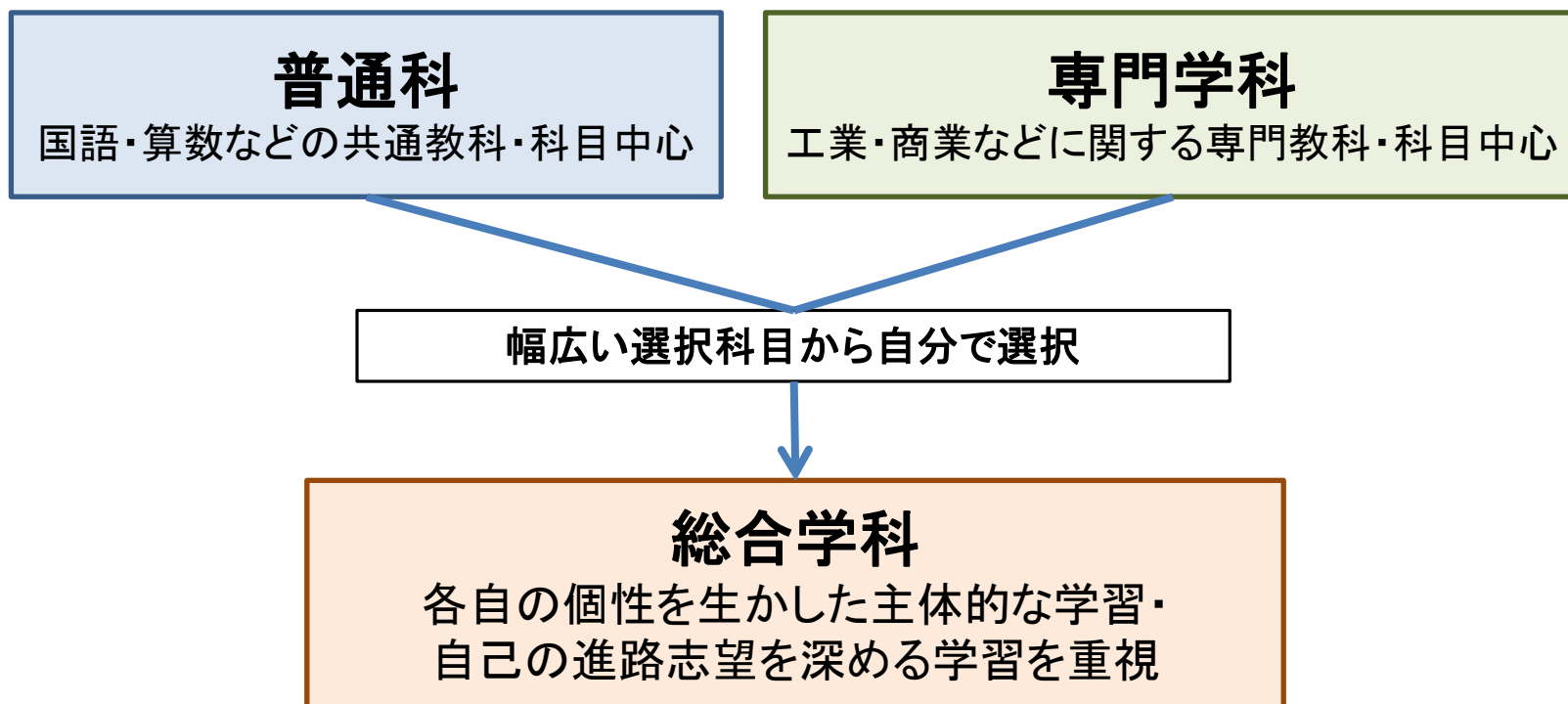


これからのグローバル社会を生き抜く力をつける教育が必要

■ 総合学科の高校づくり

総合学科とは、普通科と専門学科の機能を併せ持ち、幅広い選択科目の中から自分で科目を選択して学び、様々な個性を持つ生徒が自分の個性を伸ばしたり、多様な進路希望を実現したりすることができる学科です。学び方を学び、自ら課題を見つけ、自ら課題解決を図るための学習を重視します。

新しい高校は、町立の全日制総合学科として、地域が求める魅力ある高校づくりを目指します。



新しい高校の教育

新しい高校の教育

総合学科の教育課程

多様な他者との関わりの中で、自分の将来の生き方について考え、学び方を学び、多様な科目の中から選択して自分の時間割をつくります。

これからのグローバル社会 を生き抜く力をつける

情報技術などを使いこなし、自ら課題を見つけて研究し、より良い答えを見つけ出し、他者と協働して未知の問題を解決することができる力をつけます。

地域を知って 地域を好きになる

地域から学んで地域の魅力と可能性を知り、地域の課題を見つけ、地域を良くする取組をとる実践することによって、地域を好きになります。

■ 総合学科の教育課程

新しい高校では、入学してから自分の将来の進路に対する興味を深め、それぞれの個性や進路希望に必要な学びを、多様な選択科目の中から自ら選択して学びます。

総合学科の必修科目である「産業社会と人間」は、将来の職業や生き方について生徒一人ひとりが深く考え、その実現に向けて自ら計画を立てて学ぶことを指導・援助するためのものです。



1年次

高校生として
必ず学ぶ科目



総合学科で必ず学ぶ
産業社会と人間

自己の進路への
自覚を深める

先生によるガイダンスやアドバイス

2・3年次

高校生として必
ず学ぶ科目



総合選択科目

主に普通教科を中心に学ぶ系列

・大学進学、企業への就職や情報
技術関連事業などのため

主に農業に関する教科を学ぶ系列

・農業関連事業従事、農業に関す
る学校進学などのため

※ 系列にとらわれず選択することも可能



自由
選択科目

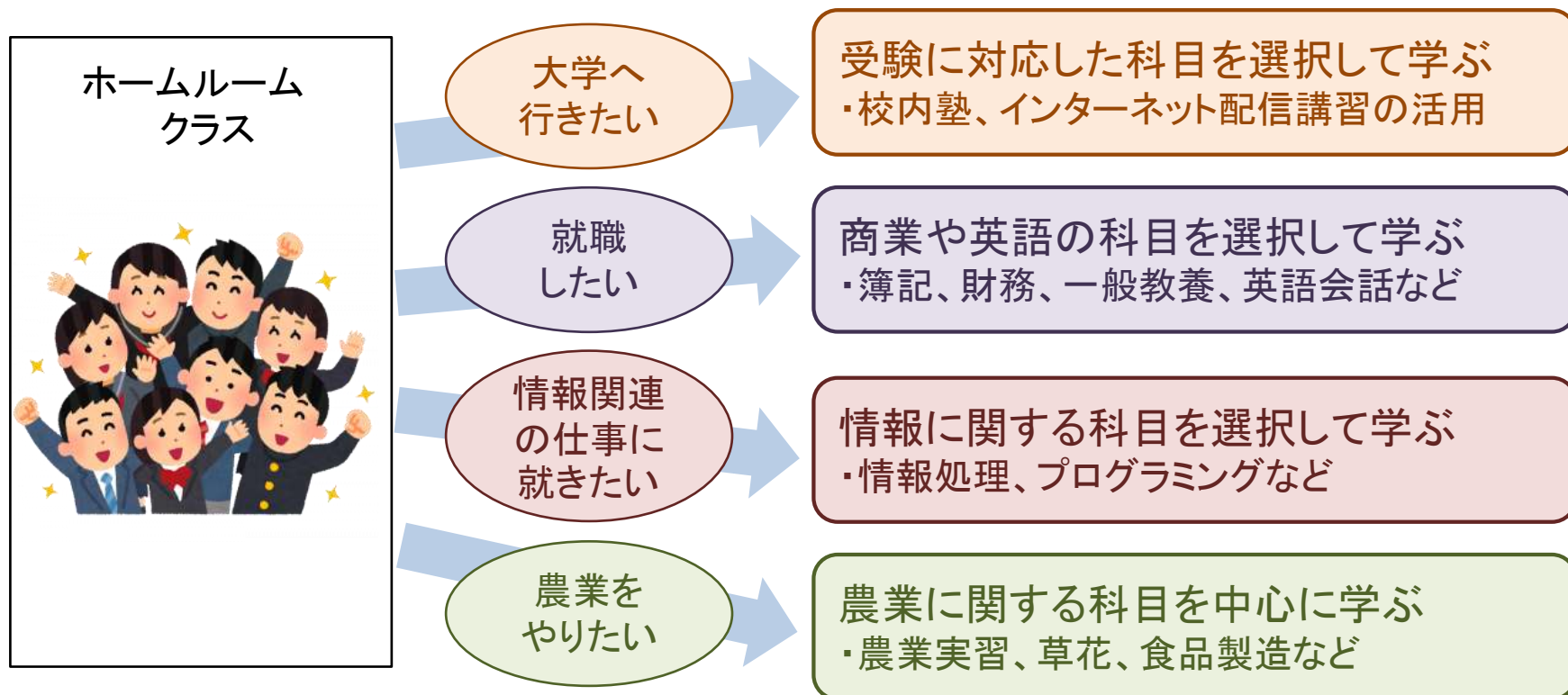


地域を好きになる学び

■ 将来の進路に応じた授業

総合学科では、単位制のためホームルームクラスで一緒に学ぶのではなく、それぞれが選択した科目を、大学のように科目ごとに分れて授業を受けます。このため、単一の学科に比べて多くの教室と教員が必要となります。

新しい高校では、次のような将来の進路に対応した選択科目を設定します。



大学へ進学
したい



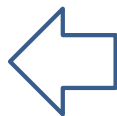
必要な大学受験のための科目を選択科目として設定するとともに、時間講師や校内塾、インターネット配信講習の活用により、学びたい要望に応えた学習支援を行います。

企業等に就職
したい



簿記や財務会計、ビジネス教養など、企業のニーズに対応できる技能をつけるための科目を選択科目として設定するとともに、グローバル社会に対応して英語に関する知識を深める科目の選択を可能とします。

情報関連の仕
事に就きたい



情報に関する基礎的科目のほか、さらに専門的な知識を深めるための科目や、情報処理やプログラミング等の情報技術を使いこなすための科目を選択科目として設定します。

農業や農業に
関する仕事に
就きたい



農業に関する知識を深めるための科目を設定するとともに、圃場や農産加工、温室等の施設を活用した実習により農業に関する技能の向上を図ります。

これからのグローバル社会を生き抜く力をつける取組



『産業社会と人間』
による学びやボラン
ティア活動により市
民性や生き方を設
計する能力を養う。

全国から生徒を
募集し、多様な文
化や価値観のなか
で協働する力を
養う。

生物を育てる実
習や農業クラブ
の活動などを通
じて豊かな心と
実践力を養う。

先駆けて

自ら将来の進路
選択のための
科目を選択して
学ぶ。

思考力

情報に関する科
目を充実し、大
手ポータルサイ
トと連携した販
売実践により基
礎力を養う。

先駆けて

東京農大と連携
した地場商品開
発や販売企画の
立案により問題
解決や創造力を
養う。

地域を好きになるための取組

大空町

地域を学ぶ時間を設定し、地域の産業、自然、文化を学んで地域の魅力と可能性を知る。

地域と交流し、地域の課題を掘り起こし、地域を良くする方法を考える。

地域を良くする取組を地域とともに実践し、地域を好きになる。

コミュニティ・スクールとして地域も運営に参画

コミュニティ・スクールは、保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設けられ、学校と地域がともに知恵を出し合い、一緒になって「地域とともにある学校」づくりを進めます。

■ 新しい高校の教育を実践するためには

総合学科として多様な進路に応じた選択科目に分れて授業を行うには、東藻琴高校4教室、女満別高校6教室の普通教室では教室の数がありません。このため、両校舎の教室を使用する必要があります。

これからの社会を生き抜く力をつける教育を実践するためには、豊かな感性を育むための生物を育てる実習、生産・加工施設を活用しての商品開発や販売実践などが必要です。

大空町を好きになるためには、地域の魅力を知り、地域を良くするためにも行動することが重要であり、東藻琴、女満別それぞれの地域で学び、交流することが必要です。



総合学科として多様な将来進路の選択を可能とし、これからの社会を生き抜く力をつけ、地域を知って地域を好きになるための教育は、東藻琴、女満別の二つの校舎を活用することにより実現します。

■ 新しい高校の運営イメージ

新しい高校

総合学科の教育

これからの社会を生き抜く
ための力をつける学び

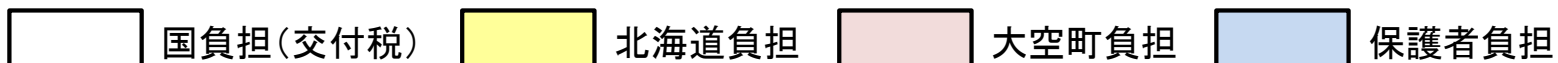
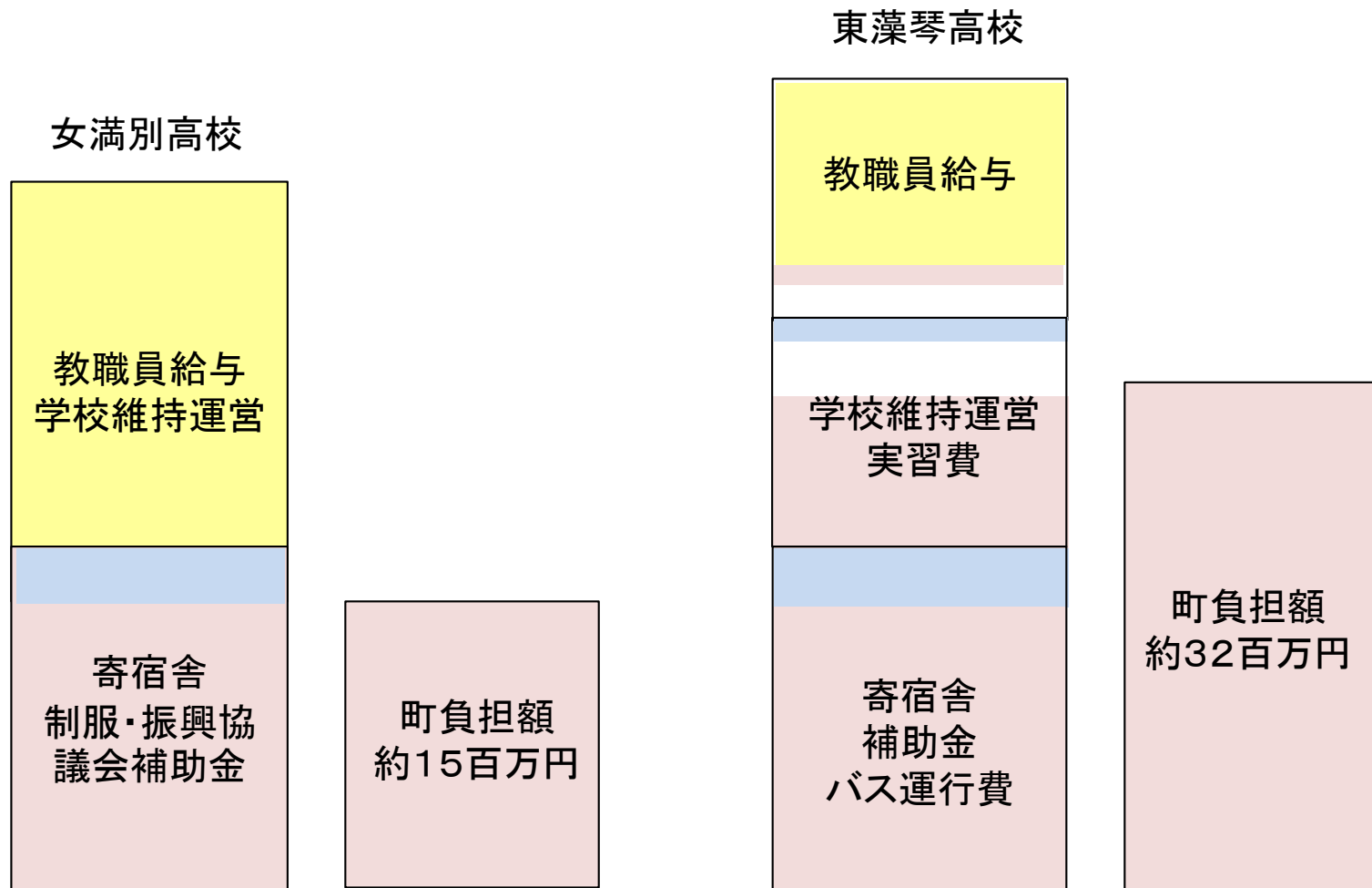
専用バス

東藻琴校舎

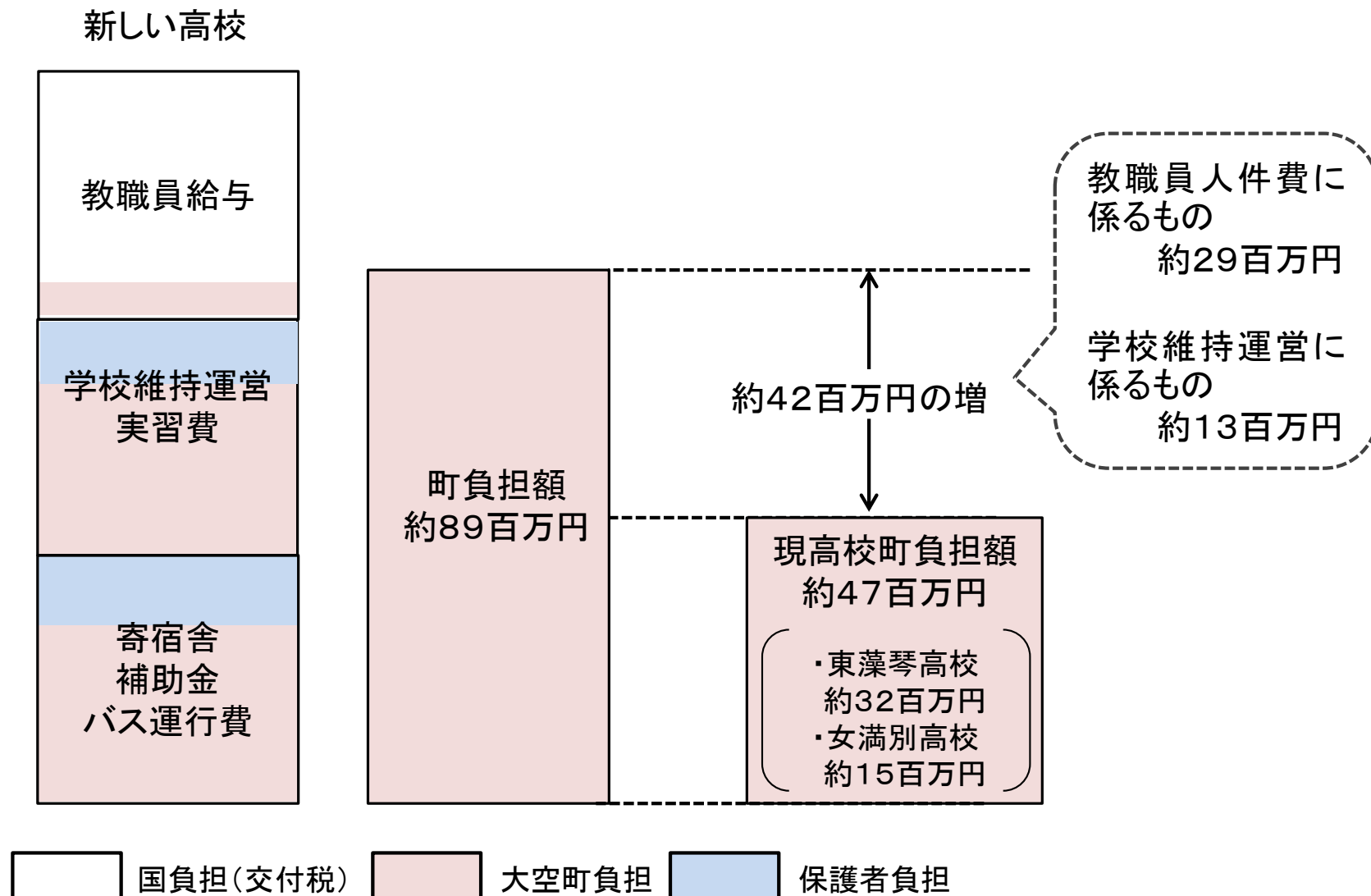
女満別校舎

地域の魅力を知り、地域と交流
してともに行動し、地域を好きに
なる学び

■ 現在ある高校のための町負担額

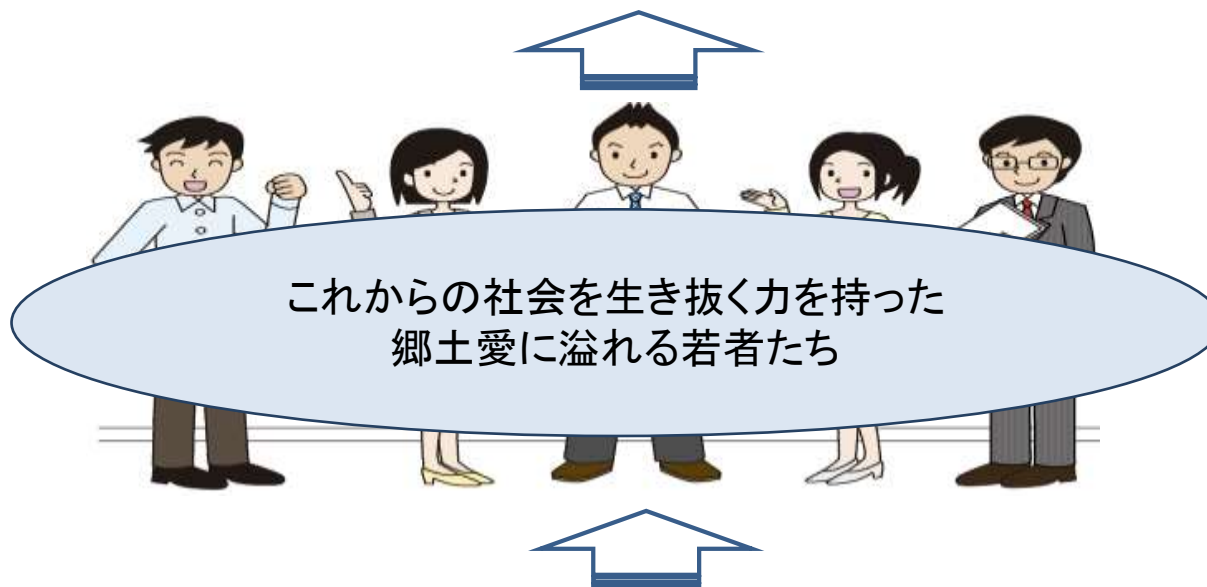


■ 新しい高校のための町負担額



■ 新しい高校が担う役割

未来の活力ある大空町



大空町の新しい高校

これからのグローバル社会
を生き抜く力を育てる教育

大空町の魅力を知り、大空
町を好きになる教育

■ 地域創生の流れを生み出す

まちづくり宣言「大空に 人・花・心育むまち」の理念のもと、大空町は「豊かな教育」、「確かな産業」、「健やかな心身」を未来へと守り育て、幸せを実感できるまちづくりを目指します。

これまでの流れ

- ・雇用不足
- ・地域の魅力が分らない



- ・都市部の担い手の排出
- ・後継者の不足



- ・過疎化・少子高齢化の進行
- ・地域の文化・産業の衰退
- ・地域活力の減退 の恐れ



これから目指す流れ

- ・これからの社会を生き抜く力を持つ人材の育成
- ・地域の魅力を知る人材の育成



- ・地域の担い手・後継者の増加
- ・新たな産業の創出



- ・若年人口の増加
- ・地域の活性化
- ・地域産業の発展 への期待

大空町の地域創生は新しい高校から始まります